

パネルディスカッション 「インパクトスタートアップの成長とインパクト創出に向けた課題解決への道筋」

(株)ユカリア
代表取締役社長
三沢 英生



りそなアセットマネジメント(株)
チーフファンドマネージャー
井浦 広樹



GLIN Impact Capital
代表パートナー
中村 将人



インパクト志向金融宣言
事務局長
安間 匡明



(モデレーター)
住友生命
責任投資推進部長
田中 淳一



株式会社ユカリア_自己紹介



インパクトスタートアップの成長と 更なるインパクト創出への課題解決に向けて

株式会社ユカリア（コード：286A、東証グロース市場）

2025.10.22

▶ スピーカーのご紹介



代表取締役社長 / Representative Director, President, Member of the Board of Directors

1998年4月	ゴールドマン・サックス証券株式会社 入社	2020年4月	当社 入社 社長室室長
2007年6月	モルガン・スタンレー証券株式会社 マネージングディレクター	2020年5月	同社 執行役員 社長室室長
2008年8月	メリルリンチ日本証券株式会社 マネージングディレクター 債券営業本部長	2020年6月	同社 執行役員 経営企画本部長
2014年2月	株式会社ドーム ¹ 執行役員	2021年3月	同社 取締役 経営企画本部長
2016年2月	同社 取締役CFO	2024年3月	同社 代表取締役社長
2017年1月	東京大学アメリカンフットボール部 監督（現任）		
2018年3月	株式会社ドーム 取締役 常務執行役員CSO		
2018年4月	筑波大学 客員教授（現任）		

2020年4月(株)ユカリア（旧社名：キャピタルメディカ）に参画。2021年3月取締役に就任後、2024年3月より代表取締役に就任。

「医療・介護のあるべき姿」を追求し、医療機関の経営支援、高齢者施設運営、高齢者施設紹介、医療DX推進、医療ビッグデータ利活用といった事業活動を通して社会課題の解決に取り組んでいる。「ヘルスケアの産業化」を掲げ、業界に更なるイノベーションを起こし、社会的インパクトを創出すべく奮闘中。

1973年8月30日生まれ。神奈川県相模原市出身。聖光学院高校ではテニス部に所属。1992年東京大学入学と同時にアメリカンフットボール部WARRIORSに入部し、初の関東4強入りに貢献する。東京大学大学院修了後はゴールドマン・サックス証券を皮切りにモルガン・スタンレー証券マネージング・ディレクター、メリルリンチ日本証券マネージング・ディレクター債券営業本部長を歴任する。2013年(株)ドームに入社。常務取締役としてスポーツの産業化を推進する傍ら、2017年にWARRIORS監督、2018年に筑波大学客員教授に就任し、中央省庁、自民党や議員連盟の各種会議では有識者として提言を続ける。好きな食べ物はカレーとハンバーグ。190cm 150kg。

（注釈） 1. 株式会社ドームは、アンダーアーマーの日本総代理店

▶ スポーツの産業化



VISION

ヘルスケアの産業化

Industrialization of Health Care.

MISSION

変革を通じて医療・介護のあるべき姿を実現する

Realize Ideal State of Medical and Nursing care through Transformation.

▶ ユカリアが目指す世界観

当社グループは各事業の展開を通じ、「医療/介護現場の生産性向上・最適化→医療機関/介護施設の経営安定化→患者/要介護者のQOL¹向上」という三方良しの実現を目指す

当社が社会に与える「三方良し」の世界観



(注釈) 1. Quality of lifeの略称。ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた『生活の質』のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをも尺度としてとらえる考え方。

▶ イノベーションに向けた5大変革テーマ

ユカリアグループは業界を変革するべく、ヘルスケア業界の中核を担う病院が抱える課題の解決を起点に5つテーマを設定し、各種事業を展開

2 FIVE THEMES 病院運営の最適化

業務の標準化・最適化を実現。医療従事者が生き生きと働ける環境を構築。



1 FIVE THEMES 医経分離

医療と経営の分離によって、現状維持ではなく発展性・持続性のある医療法人経営を実現。



4 FIVE THEMES 地域包括モデル

医療から介護までがシームレスに繋がる連携モデルを構築。地域で最後まで高齢者を支えきる環境を整備。



3 FIVE THEMES 患者起点のVBHC¹の追求

患者への付加価値を追及し、医療の質を向上。医療の質向上に尽力する病院が正当に評価される産業へ。



5 FIVE THEMES 現場に適したDX化

医療・介護業界のデジタル化を促進。医療従事者の就業体験・患者の受診体験の革新的向上を実現。



(注釈) 1. Value Based Healthcareの略称。医療行為における評価基準を、従来のように安全性・コスト・効果といった医療従事者目線での評価だけではなく、患者にとっての価値基準を重視するという考え方。

りそなアセットマネジメント株式会社_自己紹介

自己紹介

井浦 広樹
Hiroki Iura

りそなアセットマネジメント株式会社
株式運用部 チーフ・ファンド・マネージャー
責任投資部 チーフ・インパクトマネジメント・オフィサー

メールアドレス：hiroki.b.iura@resona-am.co.jp

2005年より株式アナリスト業務に従事。途中、米国研修を経て2008年より小型株ファンドマネージャーを務める。2012年企業年金向け小型株集中投資ファンド、2018年投資信託りそな日本中小型株SDG s ファンド（愛称：ニホンノミライ）、2020年グローバル中小型SDG s ファンド、そして2021年には上場株を投資対象としたグローバルインパクト投資ファンド（気候変動）を立ち上げる。R&Iファンド大賞、マーサー・ファンド・アワード、リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン、21世紀金融行動原則環境大臣賞等、受賞歴多数。2023年GSG国内諮問委員会主催「インパクトIPOワーキンググループ会合」に委員として参加。金融庁主催のインパクトコンソーシアム・市場調査形成分科会副座長。



当社の上場株インパクト投資

当社のパーパス 「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」すること

インテンションを設定

国内株式インパクト投資のインテンション

『持続可能で住みよい日本社会』の実現



グローバル株式インパクト投資(気候変動)のインテンション

『気候変動およびその影響により、
誰一人として生命や健康を損なうことのない
持続可能な世界』の実現

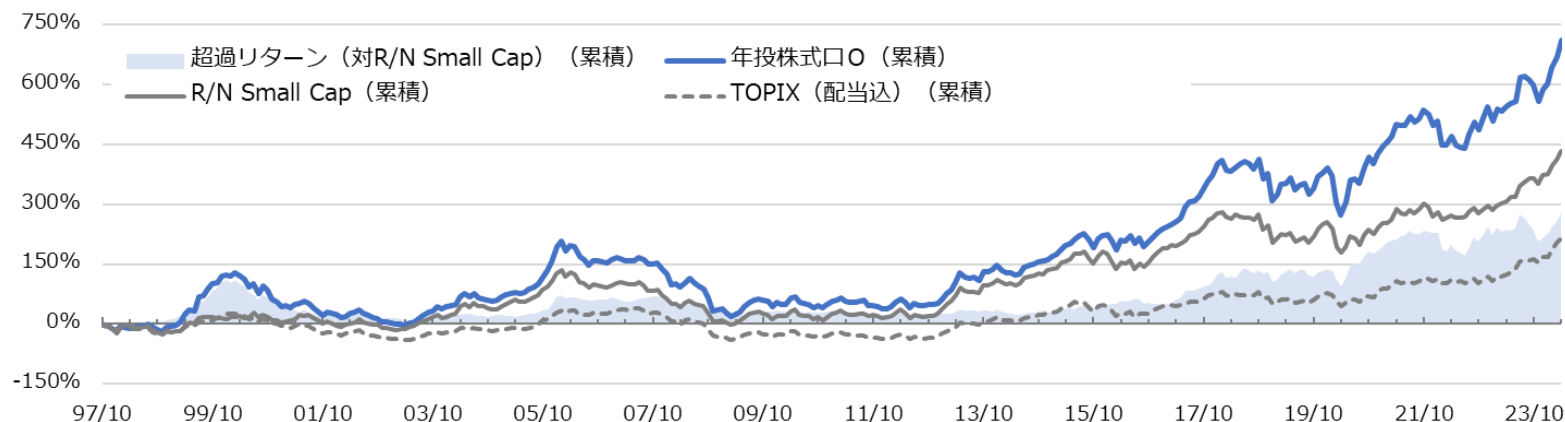


小型株チームは1997年から約30年にわたり一貫した投資哲学を実践

投資哲学

「需要サイドのニーズ」を取り込んで、持続的かつ安定した成長が期待できる銘柄をリサーチ活動を通じて発掘、投資することで、高いリターンの獲得を目指す

運用実績： 年投株式口O（1997年10月～2024年3月）



約30年にわたるトラックレコードと高いパフォーマンス

- ✓ 社会要請に応える企業は外部環境の変化を乗り越え高い成長性を実現
- ✓ インパクト投資が長期的に高いリターンを示しうる一つの可能性を示唆

GLIN Impact Capital合同会社_自己紹介

GLIN

IMPACT CAPITAL

独自アングルによる深いハンズオンが強みの
国内第一世代のインパクトグロースファンド



MISSION

社会・環境課題を大きな規模で解決するビジネスに投資を行い、ハンズオン支援を通じて事業成長を加速させることで、大きな経済的リターンとインパクトの創出の実現を目指します

STRATEGY

ステージ

グロース企業に投資。典型的な想定企業は、**シリーズB以降**で、既に**PMF***があり、**ユニットエコノミクスが黒字化する**道筋がクリアな企業

セクター

①**気候変動・環境**、②**ヘルスケア**、③**社会包摂・機会平等**という、**市場が大きく、不況下でも底堅い需要が見込める社会課題領域**に投資

投資戦略

GLINのユニークかつ**徹底したハンズオン支援を通じて築いた起業家やアーリーステージVCとの信頼関係**を基に優良案件をソーシング。ハンズオン支援の過程で得られる深い事業・業界理解を活かして**投資検討の質も向上**させつつ、投資後は**徹底したハンズオンを実行**し、高いリターンを実現

*PMF: Product Market Fit (製品と市場のニーズが合致し、持続的な需要が生まれている状態)

国内第一世代の グロースエクイティ

ビンテージ

2021年

ファンド期間

10年間
(投資期間：最初の5年)

投資領域



気候変動・環境

気候変動、生物多様性、
水・食糧問題の解決、防災 等



ヘルスケア

データ活用したヘルスケア、
創薬・バイオサイエンス 等



インクルーシビティ (人・コミュニティ)

高齢化社会、地方創生、
教育の多様化、多様性促進 等

既存投資先

ASUENE

CO₂ 排出量の算定・削減プラットフォームを提供するクライメートテックスタートアップ

EARLI

がん初期段階で悪性腫瘍を特定し即時治療につながる技術を開発するヘルスケアスタートアップ

Schoo

オンライン教育を提供する EdTech スタートアップ

IPO

TeraWatt
TECHNOLOGY

新型リチウムイオン電池を開発・製造するクライメートテックスタートアップ

Materna
Medical

出産に伴う骨盤底損傷などを予防する医療機器を開発するヘルスケアスタートアップ

JSh

精神疾患患者の在宅医療や地方在住の障がい者の雇用を支援するヘルスケア・HRスタートアップ

IPO

株式会社
坂ノ途中

持続可能な農業を実現するアグリテックスタートアップ

UniFa

保育業界へ DX ソリューションを提供するチャイルドケアテックのスタートアップ

Literati

AIを活用した読書機会の創造とブックフェアを提供する EdTech スタートアップ

YUIME

日本の第一次産業における構造的な労働課題に取り組む、総合人材ソリューションを提供

既存LP (一部抜粋、順不同)

かんぽ生命

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUBI TRUST BANK

明和産業株式会社

三菱地所

SBI GROUP

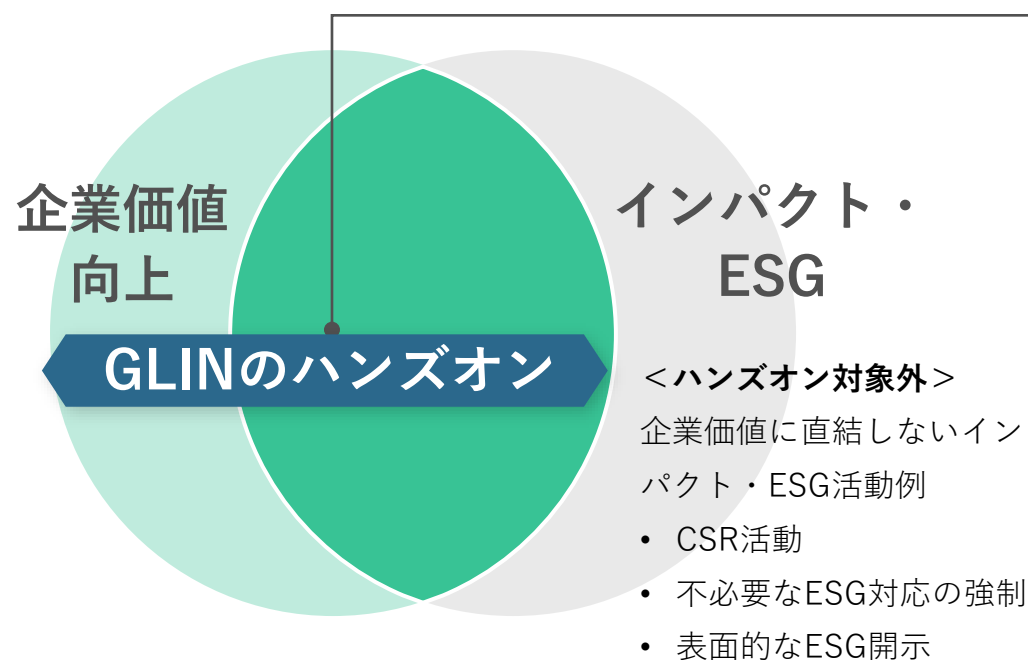
NTT docomo
NTT DOCOMO Ventures, Inc.

JT

企業価値向上をインパクト・ESGを含む多面的な支援を通じて実現

GLINは「社会・環境へのポジティブな影響」が事業に内包されているスタートアップに投資しており、「社会・環境へのポジティブな影響の増加」と「事業の成長・経済的リターンの増加」は表裏一体。インパクト観点の支援は「事業成長・経済的リターンの増加」を異なる観点から管理・改善している活動とも言える

反対に、企業価値向上に直結しないインパクト・ESG活動は当ファンドでは実施しない



支援メニュー

- 01 ミッション・ビジョンの強化／事業戦略の強化支援
- 02 事業変革・強化支援
- 03 営業変革・強化支援
- 04 マーケティング・ブランディング変革・強化支援
- 05 M&A戦略立案・実行支援
- 06 グローバル展開支援
- 07 組織変革・強化支援
- 08 採用力強化支援
- 09 AI活用による事業機会検討・コスト削減支援
- 10 投資家ユニバース拡大・マルチプル向上・上場準備支援

事業会社・金融、日本・米国・アジアの様々な経験とネットワークを持つ投資フロントメンバー



中村 将人

代表パートナー

三菱商事にて、AI/IoT関連の新規事業立ち上げやスタートアップへの投資に従事



秦 雅弘

代表パートナー

三菱商事にて事業投資・経営やAI関連の新規事業。米国VC(Anzu Partners)やJAFECOでスタートアップ投資に従事



川島 令

投資担当

日興アセットマネジメントにて、ロングショート戦略および中小株ショート戦略を担当。



HANNAH LONG

投資担当

Ontario Teacher's Pension Planにて、APACにおけるバイアウトおよびグロースステージ投資に従事。



ANUSHKA HALDAR

投資担当

ブラックロック社でグローバルの気候インフラの投資に従事。



才木 貞治

ベンチャーパートナー

マッキンゼー&カンパニーおよび電通に在籍し、事業開発に従事。



インパクト投資・グロース投資の経験やスタートアップでの事業成長経験が豊富なアドバイザー陣



川崎 達生

ユニゾン・キャピタル取締役会長
日本を代表するバイアウト PE ファン
ド、ユニゾン・キャピタルの共同創業
者・取締役会長



Brian Trelstad

ハーバード・ビジネス・スクール教授／
Bridges Fund Management 創業パートナー

Bridges 以前は Acumen Fund の設立
当初から CIO を務めた



鈴木 栄

元 KKR キャップストーン
マネージングディレクター

KKR 以前はマッキンゼーのパートナーと
して事業改革や組織変革に従事



西澤 淳

元 三菱商事 執行役員
エネルギーグループ CEO

次世代エネルギー事業および
カーボンクレジット事業を主導



小島 秀毅

SHIFT M&A責任者、SHIFTグロー
ス・キャピタル代表取締役



西和田 浩平

アスエネCEO



Alan Cowen

Hume AI Founder

コンサルティングチームとも連携しながら、手厚いハンズオン支援を実行

投資チーム



中村 将人



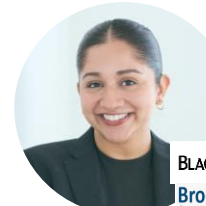
秦 雅弘



川島 令



Hannah Long



Anushka Haldar



才木 貞治



ポートフォリオ/ コンサルティングチーム



中塚 一徳



大谷 はんな



中尾 有希



市川 真愛



竹内 美咲



梅沢 裕介



鈴木 里奈

投資アドバイザー/ バリューアップパートナー



川崎 達生
ユニゾンキャピタル取締役会長



Brian Trelstad
HBS教授、Bridges Fund Management Partner



鈴木 栄
元KKRキャップストーン マネージングディレクター



西澤 淳
三菱商事顧問 (元エネルギーグループCEO)



小島 秀毅
SHIFT M&A責任者、SHIFTグ
ロース・キャピタル代表取締役



西和田 浩平
アスエネCEO



Alan Cowen
Hume AI Founder

アドバイザー



Shawn Cole
(HBS professor)



Vikram Gandhi
(HBS professor)



Arisa Mivakozawa
(Indiana Univ.)



David Freiberg
インパクト加重会計創業メンバー



オペレーション チーム



柴川 真子

GLINのインパクト投資知見とグローバルネットワークを活用し、日本のインパクト投資エコシステムの発展にも注力

インパクト投資のガイドライン等の作成

- ・ インパクト志向金融宣言 運営委員（海外連携担当）
- ・ インパクト志向金融宣言 VC分科会座長
- ・ 金融庁インパクトコンソーシアム グローバルアドバイザー・パネル企画座長
- ・ 金融庁インパクトコンソーシアム 市場調査・形成分科会ディスカッションメンバー
- ・ 環境省 Climate Techインパクト評価・マネジメントに関する検討会委員
- ・ GSG国内諮問委員会インパクトIPOワーキンググループ委員
- ・ Global Impact Investing Network VC Knowledge Hub Advisory Panel
- ・ MBA Impact Investing Network & Training Alumni Council Subcommittee、他

国際的な場における日本のインパクト投資のグローバルへの発信と協業促進

- ・ 世界最大のインパクト投資カンファレンスGIIN Impact Forumにおいて登壇
- ・ 日本最大のサステナブル投資カンファレンスResponsible Investor Forum Japanに登壇
- ・ 東京最大のスタートアップカンファレンスSushi Tech Tokyoに登壇
- ・ FinCity.Tokyo主催「Tokyo Asset Management Forum」に登壇
- ・ ハーバード・ビジネススクール教授陣と国内産官学のリーダーが語るサステナブル経営 & イノベーションカンファレンスを共催（かんぽ生命様との共催）
- ・ 「Climate Tech x Innovation x Japan Happy Hour」をNYで開催
- ・ Harvard Business Schoolのケースとして採択されビジネススクールにおいて指導
- ・ 金融庁インパクトコンソーシアム グローバルアドバイザー・パネル・インパクトフォーラム登壇
- ・ AVPN Japan Impact Investing Round Table登壇、他

ベンチャーキャピタル分科会 開催イベント一覧

定期的な分科会の開催 2023年10月～2024年9月に 計11回開催	・ GIIN / GSG イベント参加者からの報告 ・ Impact VC Playbook の日本語版作成に向けての協議 ・ SOCAP / Impact VC Training に参加したメンバーからの共有 ・ 分科会活動の振り返りと今後の取り組み方針に関する議論 ・ 参加機関の事例共有 KIBOW / キャピタルメディカ・ベンチャーズ / 慶応イノベーションニシアティブ (KII) / SIIF インパクトキャピタル / GLIN Impact Capital / はたらく Fund / 環境エネルギー投資 / 脱炭素化支援機構 (JICN)
セミナーの開催	・ インパクト投資ウェビナー「インパクトのABC分類と持続可能性の境界線の考え方」をSIMI、Impact Frontiersと共同開催

The VC Impact Playbook 日本語訳+事例集



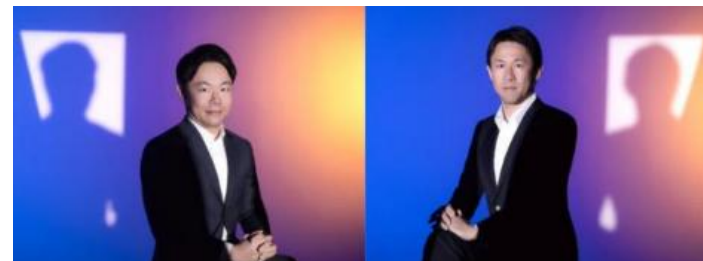
国内有数のエマージングマネージャープログラムや有力メディアの特集に選出

- FinCityTokyoが主催する、国内外の機関投資家の認知度を高めることを目的に国内の注目すべきEMを紹介する「EM Showcase」に選出
- 米国CoolwaterCapitalが主催するエマージングマネージャープログラムに選出
- Forbes JAPANの巻頭インタビューおよび「インパクトエコノミーの未来を創る100人」にGLIN中村と秦が選出
- NHK「おはよう日本」のインパクト特集で、国内第一世代のインパクト投資家としてGLINを特集
- 日経ビジネスにGLIN2号ファンドについての特集記事掲載、等



FinCityTokyo

- 日本においてインパクト投資の発展・拡大に貢献するために、自ら会社を設立して、以下取り組んでいる点に事務局は注目
- 日本が直面する社会課題を解決するスタートアップへ投資することで、日本に合ったインパクト投資の実践知が蓄積・国内外に共有され、日本からグローバルで社会課題を解決するインパクト企業が多数輩出されるようエコシステム形成に取り組んでいる。
- 日本および一部海外のミドル・レイター期社会課題解決型スタートアップへのインパクト投資を行い、投資先がグローバルに社会課題を解決できるメガインパクト企業となるべく深いハズオン支援を提供



ENVIRONMENT 時事深層

三菱商事の元社員らが300億円ファンド インパクト投資、5年で30倍超に

一定の収益を確保しつつ、社会・環境課題の解決を目指す「インパクト投資」が急拡大している。日本ではこの5年間で投資総額が30倍以上に増え、足元でも新規ファンド立ち上げの動きが出ている。ESG（環境・社会・企業統治）投資と異なっているのは投資先が社会にもたらす影響を特定・測定・管理する点だ。

「日本では、金融機関を中心にインパクト投資を推進しようという動きが起きている」。GLINインパクトキャピタル（東京・港）の代表取締役パートナーはこう力を込める。

同社は2025年上半にもインパクト投資の2号ファンドを新たに作る考えで、現在は資金提供を募る企業や金融機関を訪問。最大300億円の規模を目指す。気候変動や水・食糧問題、少子高齢化

といった日本や世界が直面する課題の解決を進めるスタートアップに投資する。

GLINインパクトキャピタルは日本におけるインパクト投資の先駆けで、20年に三菱商事の元社員らが創業した。米ハーバード・ビジネススクールで教材としても取り上げられた。1号ファンドはかんぽ生命保険や三井住友信託銀行、三菱地所といった大手企業から資金を集め、計8社のスタートアップに投資してきた。投資で見込まれる利回りや内部収益率

（IRR）は33%と、同時期に立ち上がったベンチャーファンドの平均値を上回っているという。投資先企業の1社である坂ノ途中（京都府）は企業ビジョンとして「100年先もつづく、農業を」を掲げる。地域負荷の小さい農業を実践する農家を提携し、栽培計画なども一緒に立案。収穫した野菜やコメ、果物は坂ノ途中がオンラインや定期便を通じて販売する。インパクト投資の定義は団体などによって異なるが、金融庁は24年3月の「インパクト投資に関する基本指針」で次の4つを基本的要素とした。①実現を意図する

976 NIKKEI BUSINESS 2025.01.13

GLIN

IMPACT CAPITAL

Contacts

中村 将人 : mnakamura@glinimpact.com

秦 雅弘 : mhata@glinimpact.com

株式会社ユカリア_(ディスカッション)課題認識で使用

▶ 国内初の民間病院による新型コロナ専門病棟開設をサポート

2020年4月に初の緊急事態宣言が発出されるなか、ユカリアが埼玉県知事をはじめとする行政交渉を先導し、医療従事者がパンデミック対応に専念する体制を整え、3ヶ月で専門病棟を開設

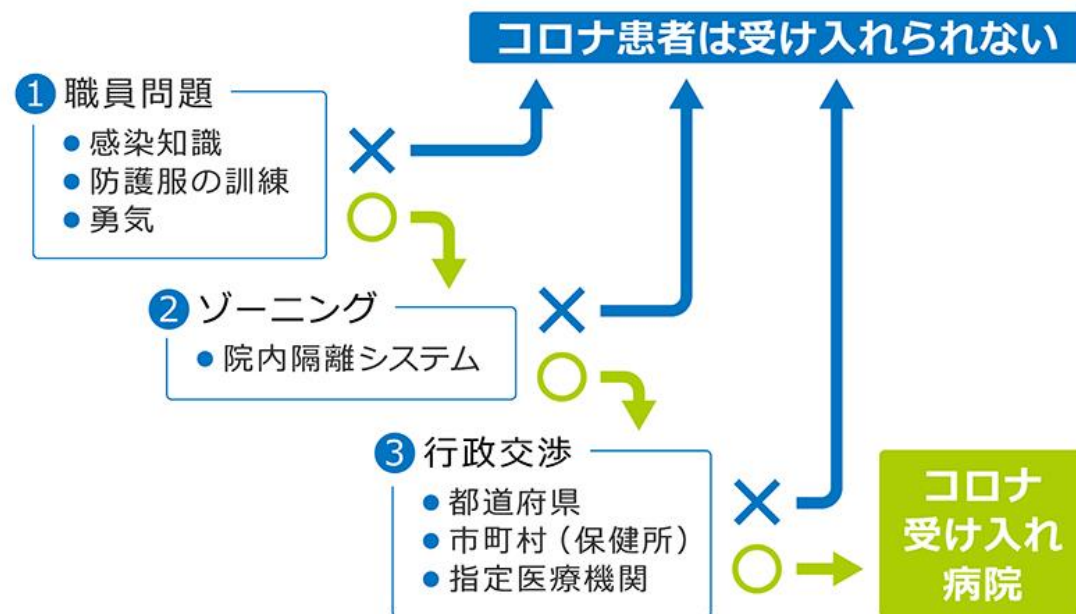


川口工業総合病院

社会医療法人新青会



病院がコロナ患者を受け入れるまでのフロー



▶ ユカリアグループの事業領域

病院経営サポートを中核事業としつつ、ヘルスケアバリューチェーン上で広範に事業を展開



▶ IMMの成果 | インパクトレポート

企業としての成長と社会的インパクトの創出を同時に実現するため
2023年よりIMMに取り組む。

医療・介護領域で創出する社会的価値を可視化した「インパクト
レポート」を2024年より公表。

2024年5月に、GSG Impact JAPANが公表した、
「インパクト企業の資本市場における情報開示及び対話のためのガイダンス 第1版」に
沿った形で情報開示・整理を進める。

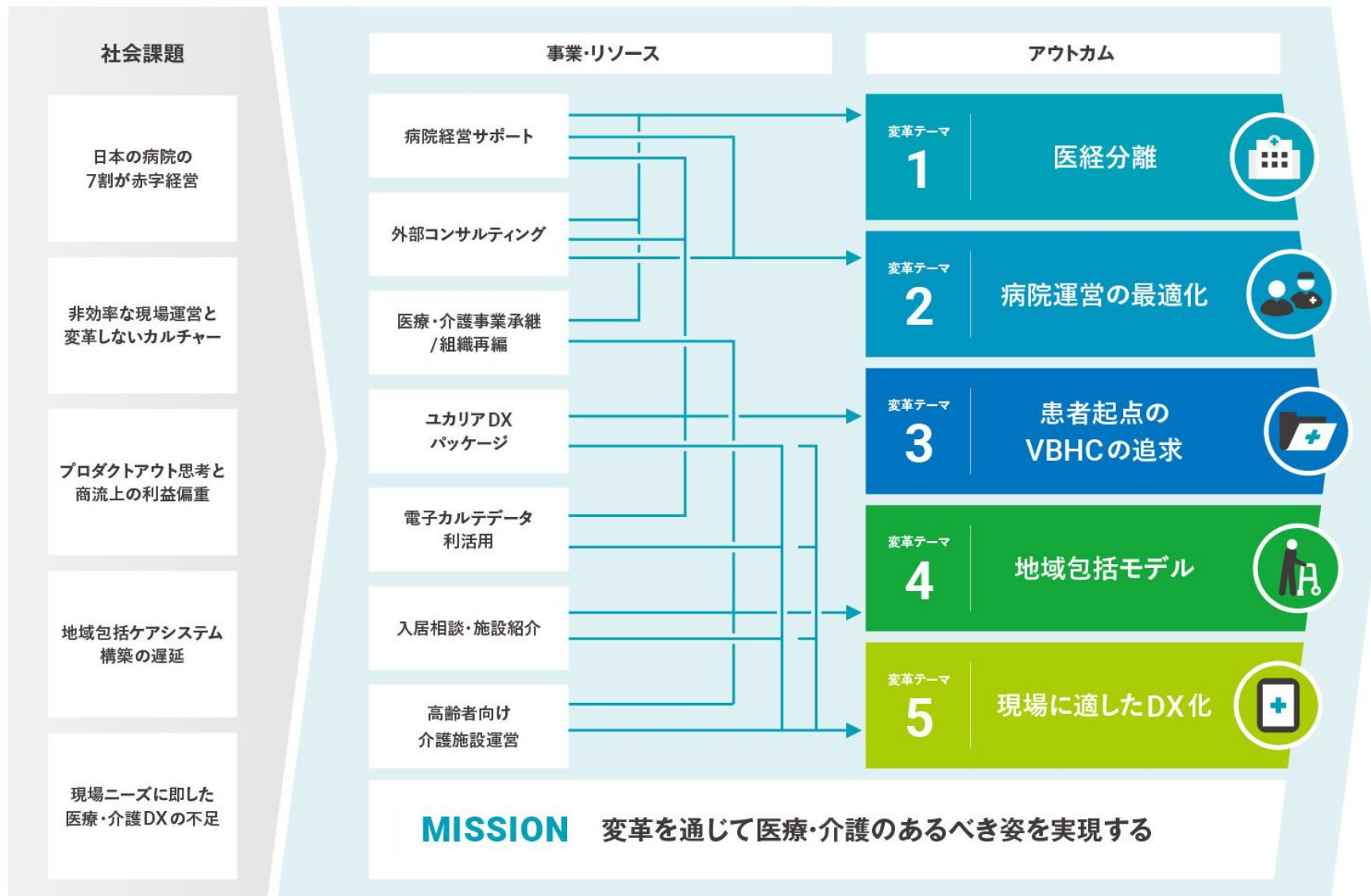


IMPACT REPORT

IMPACT
REPORT
2025-FUTURE

▶ IMMの成果 | 社内の変化

全社ロジックモデル



VISION

ヘルスケアの産業化

株式会社ユカリア_(ディスカッション)今後の方向性等で使用

NewsPicksにて半生インタビューを掲載いただきました

前編【ユカリア三沢英生】東大・アメフト・ゴールドマン・IPO

後編【ヘルスケア三沢英生】人生120年、時価総額1兆円の完全燃烧



▶ 取り組み事例 | 東京大学 柳川範之教授との共同研究

ユカリアの医療経営総合支援事業が病院経営にもたらす変革を定量的に測定し、ひいては社会保障費への影響を試算することを目指す。

PRESS RELEASE



2025 年 2 月 3 日
株式会社ユカリア

東京大学大学院 柳川範之研究室と共同研究を開始

医療経営総合支援事業が社会保障費に与える影響を試算、
日本のあるべき医療・介護の姿を提言

株式会社ユカリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三沢 英生）は、東京大学大学院経済学研究科柳川範之研究室との共同研究を 2025 年 2 月より開始します。本共同研究は、ユカリアの医療経営総合支援事業が病院経営にもたらす変革を定量的に測定し、ひいては社会保障費への影響を試算することを目指します。



柳川教授は企業活動が社会に与えるインパクトに関して豊富な学識経験を有しており、ユカリアは今回の共同研究の結果を踏まえ、ビジョン「ヘルスケアの産業化」の実現に向けて日本のあるべき医療・介護の姿を積極的に提言・発信する予定です。

■柳川 範之教授のコメント

今後の日本の複雑な社会課題解決には、政府と共にあるべき未来を描き、共に実現を目指す民間企業や組織が求められます。そのため、そのような企業が創出する本質的なインパクトを定義、測定していく試みは非常に重要です。

ヘルスケアにおいては、政府は新たな地域医療構想を通じて目指すべき医療を提示しています。医療経営総合支援事業を通じてあるべき医療の実現をするユカリアの試みをアカデミックな観点で分析することができればと考えています。



▶ 対外的な情報発信 | インパクト投資に関するステークホルダーダイアログに参加



GSG Impact Conference
当日の様子

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES プレスリリースを受信 企業登録

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

GSG Impact JAPAN 会社概要 プレスリリース

上場株インパクト投資の世界的な先駆者と日本のインパクト企業とのインパクト測定・マネジメント（IMM）に関する対話・ワークショップ第2弾を開催

GSG Impact JAPAN 2025年5月12日 11時00分

社会変革推進財団（所在地：東京都港区、理事長：大野修一）が事務局を務めるGSG Impact JAPAN National Partner（旧称：GSG国内諮問委員会）（以下、「GSG Impact JAPAN」）は、「インパクト測定・マネジメント（IMM）とインパクト指標を題材とした投資家とインパクト企業との対話・議論ワークショップ第2弾」（以下、「本ワークショップ」）を、2025年3月に開催しました。

インパクト投資市場は17兆円を超え（※）、インパクト投資に注目が高まり続ける一方、事業者側の視点に立つと、インパクト企業が未上場の段階から、上場を経て、上場後も、インパクトを創出しながら持続的な企業価値の向上を図ろうとする際には課題が多く、参考となる事例も少ない現状があります。

そこで、GSG Impact JAPANでは2023年7月にインパクトIPOワーキンググループ会合を組成し、2024年5月にインパクト企業が活用できるガイダンスをとりまとめ、関係者とともに対話を重ねていくことの重要性を提唱しました。

2024年5月発行
[「インパクト企業の資本市場における情報開示及び対話のためのガイダンス第1版」](#)
発行：GSG Impact JAPAN

その活動の一つとして、本ガイダンスに沿って、インパクト企業がインパクト投資家や専門家と対話・議論を行い、インパクト企業が上場時・上場後に直面するリアルな課題を浮かび上げらせ、ガイダンスの実用性をより高めることを目的とし、ワークショップを開催いたしました。本ワークショップには、上場株インパクト投資ファンドの世界的な先駆者である2社の海外インパクト投資家2名を招き、未上場企業3社、上場企業1社、国内の上場株投資家・IMM専門家2名が参加いたしました。

ユカリアはインパクト企業の



ファーストペンギン

になる